

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2023年1月 検針分 )

2022年8月～2022年10月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2023年1月 検針分の単位料金は、2022年12月 検針分 に比べて、1m<sup>3</sup>(45MJ)当り  
8.59 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 223 円の調整を行うこととなりました。

### ●一般ガス供給約款料金における調整単位料金 (消費税込)

	単位	2022年12月 (A)	2023年1月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	310.61	319.20	8.59
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	251.55	260.14	8.59

### ●平均原料価格

	単位	2022年7月 ～ 2022年9月	2022年8月 ～ 2022年10月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	142,800	152,790	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	101,130	97,440	
平均原料価格	円/トン	141,320	150,670	46,100

平均原料価格=LNG平均価格×0.9541+LPG平均価格×0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき}) \\ &= 150,670 - 46,100 = 104,500 \text{ 円/トン} \\ &\quad (100円未満端数切捨て) \end{aligned}$$

### ●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

$$\text{調整単位料金} = \text{基準単位料金} + 0.084 \times \text{原料価格変動額} \div 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \quad (\text{小数点第3位以下の端数切捨て})$$

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2023年1月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	222.65	319.20	96.55
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	163.59	260.14	96.55

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2022年12月	(B) 2023年1月	影響額 (B)-(A)
26	8,711	8,934	223

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)